

道外からも

被災地
支援



緊急救援

苫小牧港 支援物資の荷下ろし

北陸地方整備局の船「白山」が救 援物資の運搬や入浴支援を実施

はくさん

被災地支援のため北陸地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「白山」が平成30年9月8日に苫小牧港に支援物資を運搬するとともに、同港において入浴・洗濯・給水支援等を9月16日までの9日間にわたり実施しました。



関東地方整備局の備蓄物資を 民間船舶「はくおう」により輸送

関東地方整備局により川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点等に備蓄されていた支援物資が防衛省が契約している民間船舶「はくおう」により輸送され、被災地に提供されました。



被災地
支援

被災地を支援する 道の駅

道の駅「むかわ四季の館」



「道の駅」駐車場
車中避難者へ
毛布を提供

避難者を受け入れ、防災拠点として被災地を支援

道の駅「むかわ四季の館」は、地域防災計画における避難所として位置づけられています。北海道胆振東部地震では道内全域が停電しましたが、非常用発電機によりトイレ、研修室、携帯電話充電サービス等が利用可能であったため、避難所として開放し、被災地域の住民(最大時270人)が利用しました。※H30/9/6～11/11まで 延べ 5,431人が避難所として活用

給水活動



給水支援（厚真町）

平成30年9月6日から10月13日までの間、2市4町へ延べ185台の散水車(給水機能付き)により給水支援を実施しました。

厚真地区緊急対応

被災地
支援

タイムラインの取組

地震発生直後、厚真町において、関係機関と連携し、「台風・前線性の降雨等に伴う洪水・土砂災害等」を対象としたタイムラインの検討に着手。北上する台風第24号に対し、平成30年9月28日より緊急的にタイムラインを立ち上げました。

被災自治体橋梁の 緊急点検支援

橋梁緊急点検支援(安平町)

地震発生直後から、橋梁点検車により被災自治体(安平町、むかわ町、厚真町)の橋梁について緊急的に24箇所の点検を実施し支援。

被災地
支援

「提供(国研)土木研究所寒地土木研究所」



液状化被害に関する
専門家チームの派遣
(札幌市清田区里塚)



専門家による 高度な技術支援

港湾災害専門家による苫小牧港被災施設の現地調査実施



復旧・復興

復旧・復興
に向けて

強靱化に向けて

「北海道開発局復興・強靱化推進本部」の設置

～ 着実な復旧・復興対策の推進に向けて ～

北海道開発局では、平成30年北海道胆振東部地震の発生(9月6日)から1か月が経過した10月5日付で、第8期北海道総合開発計画の着実な推進及び復旧・復興並びに国土強靱化を推進するため、「北海道開発局復興・強靱化推進本部」を設置しました。

会議では、北海道庁の「北海道胆振東部地震被災地域復旧・復興推進本部」の取組とも連携し、復興工事に関する情報交換、事業調整の取組に対する議論を行い、被災地の着実な復旧・復興に努めています。

北海道の復旧・復興及び国土強靱化を推進します

当面の取組

- ①被災した地域の復旧・復興状況の把握、対応及び調整
- ②被災による農林水産業や観光等の産業に関する全道及び全国への影響の把握、対応及び調整
- ③食と観光を担う生産空間の維持・発展など北海道型地域構造の保持・形成及び強靱な北海道の実現の推進
- ④「重要インフラの緊急点検」への対応



胆振東部地域における震災復興に係る連携

トップレベル

被災3町長との定期的な意見交換

安平町長、厚真町長、むかわ町長から直接、室蘭開発建設部長及び胆振総合振興局長が、定期的に町の実情を聴き取り、意見交換を行っています。

実務者レベル

現地連絡調整会議

安平町、厚真町、むかわ町と国・道の担当者が各町の復旧・復興に関する動向を共有、国・道からは、支援・補助制度等の紹介を行うなど綿密な連携・意見交換を行っています。

※砂防事業による国土強靱化の推進、農業、港湾事業及び食や観光にの復興に向けた具体的な取組は次ページ(P22)以降に掲載しています。21

復旧・復興
に向けて

強靱化推進

災害査定

査定状況(平成30年10月10日)
一般道道 上幌内早来停車場線(厚真町)

速やかに災害査定を行い、早期の復旧を支援

道路、河川などの公共土木施設が自然災害により被害を受けた場合、被災した施設を管理する地方公共団体は、施設の復旧を行うため国土交通省に国庫負担申請を行います。

胆振東部地震により被害が発生した施設の早期復旧に向け、被災後約1か月という短期間で災害査定に着手し平成31年2月1日に終了、470箇所、約415億円の災害復旧事業費が決定されました。現在、早期復旧・復興に向け、復旧工事が進められています。

地震の影響により鵡川、沙流川、茨戸川、石狩放水路が被災



鵡川左岸KP0.7被災状況



鵡川左岸KP0.7本復旧完了

直轄河川 の復旧



鵡川左岸KP0.7 本復旧工事切り返し工施工状況
切り返し工:亀裂が発生した箇所を掘削し除去

特に鵡川では堤防に重大な縦・横断亀裂が発生したため、次の出水に備え緊急的な復旧工事に平成30年9月7日着手。24時間体制で実施し、堤防の緊急復旧を9月13日に完了しました。また本格的な出水期までの完成を目指し、堤防の本復旧工事を令和元年7月30日に完了しました。

直轄事業による復旧支援

復旧・復興
に向けて
強靱化推進



日高幌内川、チケッペ川、東和川の3河川を国直轄で推進

北海道勇払郡厚真町を中心に発生した土砂災害に対し、北海道知事からの要請をふまえ、新たに国直轄で土砂災害対策を推進。これに対応するため、平成30年10月に「厚真川水系土砂災害復旧事業所」を設置、平成31年4月に「厚真川水系砂防事業所」へ組織を強化しました。

大規模な河道閉塞が発生した日高幌内川における対策を推進するとともに、チケッペ川と東和川の河道内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐための緊急的な砂防工事を実施しています。

被災直後の状況



日高幌内川の緊急的な水路工の完成



復旧・復興
に向けて

強靱化推進

直轄砂防災 関連緊急事業を実施



河道閉塞箇所の掘削状況
(日高幌内川)

緊急的な砂防工事の実施状況

大規模な河道閉塞が発生した厚真川水系日高幌内川の緊急的な砂防工事に平成30年10月2日着手しました。

工事用道路造成を10月末、倒木処理等を11月末迄に完了、11月中旬に河道閉塞部を25m切り下げる掘削工に着手し、24時間体制で工事を実施しました。

平成31年3月26日に、融雪水を安全に流すための水路工が完成しました。



対策完了後の状況

令和元年5月13日撮影



砂防堰堤設置位置

被災直後の状況

対策の早期完成

また、チケッペ川、東和川においては、砂防堰堤建設のための掘削工に平成31年1月中旬に着手しました。

緊急的な対策として工事している3基の砂防堰堤の内、チケッペ川の1基は令和元年5月に完成。他2基の砂防堰堤についても、7月末までに完成しました。

復旧・復興
に向けて

強靱化推進

直轄特定緊急 砂防事業を実施



砂防堰堤嵩上げ状況
(コンクリート打設)

応急対策に引き続き、恒久対策を推進

日高幌内川、チケツペ川、東和川では、緊急的な砂防工事に引き続き、計画規模の砂防設備を整備するため、平成31年度より直轄特定緊急砂防事業に着手しました。

各工事は令和2年度より本格着工し、現在、令和5年度までの完成を目指して施工中です。

砂防堰堤の嵩上げ(チケツペ川支川チケエツブ川)



復旧・復興
に向けて

産業支援

地域農業の 持続・復興に向けた取組

勇払東部地区(厚真町)



パイプライン被災状況 (H30.9)

厚真ダム被災状況 (H30.9)

胆振東部地震により厚真ダムやパイプラインが被災しましたが、暫定的な用水確保を行い、令和元年春から営農が開始されています。

地域の基幹産業である農業の復旧に向けて、北海道や厚真町等と連携し、農業水利施設の本復旧を推進します。

厚真ダム復旧状況(洪水吐復旧)



(R3.7)

令和3年 水稻生育状況



(R3.8)

直轄災害復旧 事業を実施

復旧・復興
に向けて
産業支援



新鵜川地区では、用排水路が被災しましたが、令和2年度に復旧を完了しました。



早来地区では、瑞穂ダムの堤頂部が損傷し、令和2年度までに復旧工事を完了しました。

令和3年度は堤体の安全性を確認するため試験湛水を実施します。



道央用水地区では、夕張シューパロダムの貯水池法面が損傷し、令和元年度に復旧を完了しました。

苦小牧港 直轄災害復旧状況

復旧・復興
に向けて

産業支援



地震により、岸壁及びエプロンの沈下・ひび割れ、岸壁法線の迫り出しなど、苦小牧港西港区2施設、東港区5施設に被災が発生。復旧工事は平成31年3月に開始し、令和2年7月に完了しました。



復旧・復興
に向けて
産業支援

海外輸出を通じた 復興支援の取組

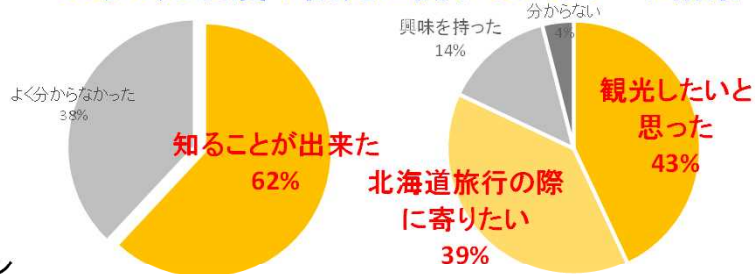


仕入の増加、新規取扱を開始した商品



じゃがバター とうもろこし ハスカップワイン

3町の知名度や観光に関するアンケート結果



台湾の北海道アンテナショップで、「北海道胆振東部地震復興支援フェア」(平成31年2月2日～2月4日)を開催、被災地の「食」と「観光」のPRを行いました。

会場は2千人以上の来場者で賑わい、来場者アンケートでは、約8割の方が「3町を観光してみたい」と答え、フェアを通じて東胆振地域の知名度向上に貢献しました。

販売事業者が「じゃがバター」や「とうもろこし」の仕入を増やし、「ハスカップワイン」の新規取扱を開始するなど、今後の販売展開に一層の期待感が生まれました。

道の駅利用促進による産業支援

賑わう農産物直売所「ベジステ」

(令和元年撮影)



(令和2年撮影)

蒸気機関車「D51」などの展示

(令和元年撮影)



復興のシンボル道の駅「あびらD51ステーション」は平成31年4月オープンから3年目。令和2年度は52.4万人が来場。新型コロナウイルス感染拡大防止措置として購買レジではソーシャルディスタンスの確保、休憩コーナーではクリアパネルを設置して営業。 29

復旧・復興
に向けて
観光支援

北海道観光の 復興に向けて

シーニックバイウェイ北海道と連携し、平成30年10月に東京・池袋で行われた「北海道まるごとフェアinサンシャインシティ」の観光PRブースにおいて、道内ほぼ全ての地域で観光客の受入に支障がないことの動画等での発信や、「秀逸な道展」として道内の魅力的な道路景観や食のPRを行いました。

北海道開発局は、地域のみなさまと一緒に、国内外に向けて北海道の元気を発信し、北海道観光の復興に取り組んでいます。

元気です
北海道

We are GENKI Hokkaido



Welcome!
HOKKAIDO,
Japan.

北海道銀行との連携により、平成30年11月に北海道内各地域からの動画(収集協力:シーニックバイウェイ北海道・北海道運輸局)を北海道銀行等の道内外の銀行800店舗以上で発信しました。

平成30年11月に外国人ドライブ観光客が多く利用する道の駅等10か所に「元気です 北海道」のロゴが入ったSNSパネルを設置し、国内外の旅行者による情報発信を促進しました。

シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺二セコルート
北海道千歳市支笏湖温泉



facebook
Michi-no-Eki Utoro Shirietoku
JAPAN-HOKKAIDO-IR-21
元気です北海道／Welcome! HOKKAIDO, Japan.
#GenkiHokkaido #元気です北海道 #北海道旅行
#シーニックバイウェイ北海道 #道の駅 支笏洞爺
#KoromoOnsen #洞爺湖 #Shir #支笏湖 #Sorachi



Hokkaido 179 cities, towns and villages
いいね! コメントする シェアする
支笏洞爺 元気です北海道 HOKKAIDO, Japan.

パネル展開催による 復興支援



札幌市西区八軒 レンガの館



札幌市生涯学習センター ちえりあ

北海道開発局は各関係機関と連携し「緊急対応」、「被災地支援」、「復旧・復興に向けた取組」をまとめたパネル展を開催しました。パネル展を通じて、地域との連携、住民の防災・減災の意識向上に役立てていただくことを目的としています。

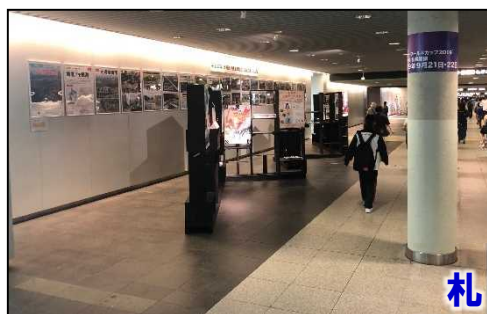


札幌ドーム(R元年9月)

被災3町の復興応援パネル展

震災を記憶にとどめ、被災地の復旧・復興を応援

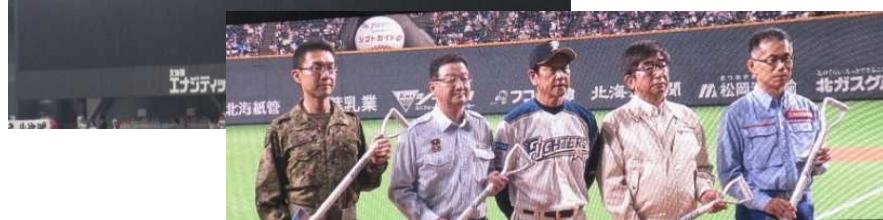
また、地震発生から1年毎の節目において、震災を記憶にとどめるとともに、甚大な被害を受けた厚真町、安平町、むかわ町の復旧・復興を応援するためのパネル展を開催しました。



札幌駅前通地下歩行空間



北海道胆振東部地震復興祈念セレモニー



震災発生から1年を経過した令和元年9月6日には、日本ハムファイターズの試合に合わせて復興祈念セレモニーが開催され、震災当時最前線で復旧活動に当たった関係者が表彰されました。

厚真町からの情報

復興応援!

あつま国際雪上3本引大会（令和4年1月中旬）



厚真町から発信する新たなスポーツ『3本引き』。同時に3本の綱を使って行う綱引きで、2本取ったチームが勝利となる。体力はもちろんのこと、作戦やチームワークが重視される奥の深い競技です。

ランタン祭り・スターフェスタinATSUMA（令和4年2月上旬）



●ランタン祭り

メイン会場を中心に町内を無数のアイスクャンドルが彩る他、「ジンギスカンのランタン焼き」や「ラーメン早食い」を初め、数多くのイベントが楽しめます。

●スターフェスタinATSUMA

厚真町の冬の風物詩。毎年恒例になった「巨大干支文字焼き」と、冬の夜空を彩る約2,000発の打ち上げ花火を楽しめます。会場では、餅まきや振る舞い酒などのイベントもあり、毎年多くの観光客でにぎわいます。

こぶしの湯あつま（通年）

こぶしの湯HP



厚真町にある温浴宿泊施設です。種類豊富なお風呂と、厚真特産の新鮮な素材が自慢のお食事で、優雅に安らぐ寛ぎの空間。ゆったりお風呂でのんびり気分♪日頃の疲れをリフレッシュしてください。ラドン湯・泡ぶろ・打たせ湯・露天風呂・水ぶろ・サウナなど多彩なお風呂をご用意しています。

大沼フィッシングパークと野営場（令和3年10月31日迄）



鯉沼地区にある大沼のフィッシングパークでは釣り（7月～9月）を楽しめます。釣れるのは鯉やフナなどの淡水魚。また沼のほとりには、野外炊事場や簡易トイレ水洗トイレ等の必要最低限の人工物だけが設置された自然を大切にしたいキャンプ場である大沼野営場があります。静かにゆっくりとキャンプを楽しみたいという方におすすめです。

特産品（他にもあります！）

厚真町観光協会HP



お米



ハスカップ



あづまジンギスカン



ホッキ貝



まつかわ



ししゃも



安平町からの情報 復興応援!

道の駅あびらD51ステーションに『ポッポらんど』がオープンしました！

平成31年（2019年）4月19日に『道の駅あびらD51ステーション』がオープンし、令和2年（2020年）7月3日に来場者数100万人を突破！北海道じゃらん「道の駅満足度ランキング2021」第9位、トリップアドバイザー「旅好きが選ぶ！日本人に人気の道の駅ランキング2020年」第15位にランクインしました。

令和3年（2021年）4月29日に体験型の遊び場『ポッポらんど』がオープン！夏は「ふわふわドーム」で飛んで跳ねて不思議な感覚が味わえ、定期的にミニSLの乗車体験も開催。冬は「ちびっこゲレンデ」のそり滑りを中心とした雪遊びを味わえます。

道の駅には、観光情報、テイクアウトコーナー、特産品・ベーカリーコーナー、鉄道文化を伝えるレガシーギャラリー、農産物直売コーナーなど安平町の魅力を集結。併設される鉄道資料館では、全国屈指の静態保存を誇る蒸気機関車「D51 320」や『特急おおぞら』などで活躍した北海道仕様の特急車両「キハ183系」が展示されています。



道の駅あびら
ホームページ



道の駅あびらHP: <https://d51-station.com/>

早来中学校の再建に向けて

平成30年（2018年）9月に発生した北海道胆振東部地震により被災した早来中学校は、校舎が使用できない状況となり、現在も仮設校舎での学校生活を余儀なくされています。

本年7月から早来小学校との施設一体型校舎の建設工事が始まり、令和4年（2022年）年10月の完成を目指しています。令和5年（2023年）1月（3学期）から早来小と早来中が新校舎の供用を開始し、同年4月には安平小・遠浅小を含めた早来地区4校を統合した義務教育学校として開校の予定です。

早来中学校の再建に向けた費用の一部には企業版ふるさと納税を活用するため、国から地域再生計画「未来へつながる復興まちづくりプロジェクト」の認定を受けています。中学校の再建に応援いただける企業様を募集しています。



左：実施設計：全体俯瞰イメージ

上：教室をつなぐ

光のプロムナードイメージ

右：仮設校舎

企業版ふるさと納税HP

<https://www.town.abira.lg.jp/chiikishinko/furusato-nozei-k>

企業版ふるさと納税
ホームページ



安平町はこんなまち

◇名馬の故郷「馬がいる風景」

安平町は名馬「ディープインパクト」をはじめとする数多くの名馬を輩出している日本有数の名馬のふるさとです。どこまでも澄んだ青空の下、馬が自由に駆け回るのどかで広大な風景は町の自慢です。



◇大地に広がる黄色のパノラマ「菜の花畑」

四季折々にいろいろな花が咲き誇る大地。その中でも初夏の菜の花畑は、自然が作り出す素敵な光景です。

菜の花畑は、連作による病害を防ぐため、毎年場所を変えて作付けされています。そのため、今年見られた場所で、来年も同じ黄色い光景が見られるというものではありません。

まさに、一期一会の出会いとなっています。



◇チーズ専門工場発祥の地

昭和8年（1933年）、日本で初となるチーズ専門工場が誕生し、地域の発展に貢献してきました。その灯は受け継がれ、現在でもカマンベールチーズをはじめとする質の高いチーズが町内の企業によって生産され、多くの方々に愛されています。



◇「SLラストランの地」

明治25年の室蘭線・夕張線の鉄道開通以来、鉄道の要衝として発展してきた安平町は、昭和50年（1975年）にSLラストランがされた地として全国の鉄道ファンの間でも有名です。当時の車両は「安平町追分SL保存協会」により大切に保存され、現在、道の駅あびらD51ステーションで展示されています。



◇甘い宝石「アサヒメロン」

みずみずしく糖度の高い赤肉メロン「アサヒメロン」は安平町の特産品・北海道自慢のメロンです。寒暖の差がある気候が甘いメロンづくりに最適。土壌づくりと有機質肥料と合わせ、おいしいメロンが誕生します。

甘味がしっかり、そしてあっさり。これからおいしいメロンを全国の皆さんにお届けします。



安平町ホームページ



安平町HP
<https://www.town.abira.lg.jp/>
ふるさと納税HP

<https://www.town.abira.lg.jp/chiikishinko/furusato-nozei>

ふるさと納税
ホームページ



むかわ町からの情報 復興応援!



むかわ町は、道央圏の南方に位置し、北海道の経済・文化の中心都市である札幌市や空の玄関である千歳市、海の玄関である苫小牧市にも近く、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。

面積が、旧鶴川町が164.88平方キロメートル、旧穂別町が546.48平方キロメートル、合わせて711.36平方キロメートルであり、細長い地形をしています。

東西及び北部の三方が日高山脈系の外縁部に囲まれ、南部は太平洋に面し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川鶴川が南北に縦走しており、海・山・川そして平地と多彩な自然環境に恵まれています。

国内最大の恐竜全身骨格化石『むかわ竜』!!



国内最大の恐竜全身骨格化石『むかわ竜』。

学術名は『カムイサウルス・ジャポニクス』(意味：日本の竜の神)。

平成30年9月に発生した胆振東部地震では町が甚大な被害を受けたところですが、本化石は奇跡的に無傷であったことから、復興のシンボルとして活用し、町を活気付ける取組を進めています。

その『むかわ竜』は、2019年に東京、2020年に札幌、2021年に名古屋で開催された各イベントで展示され、全国各地の恐竜ファンや子どもたちなどから人気を博しています。

現在は穂別博物館に、一部を除いた全身骨格化石の展示をしていますので、ぜひご覧ください。

道の駅「四季の館」が充実しています。



道の駅「四季の館」には、温泉やホテル等が併設され、町外の方には観光の拠点として、町民の方にはトレーニング施設やプール、図書館など憩いの場として利用されています。物産館では、おみやげも充実。是非お立ち寄りください。

おいしい「ししゃも」が食べられます。



むかわ町のししゃもは、かつてアイヌの人たちに「神がくれた魚」として尊ばれ、緑豊かな森を育み、悠久に流れる鶴川とともに生きてきました。この貴重なししゃもを町の資源として未来永劫残していく町民の決意を象徴化するため、平成7年7月に開催された町100年記念式典で「町魚」に制定されました。

ししゃも漁が解禁となる10月上旬から町内には、すだれ干しが並びます。旬にしか食べることでない寿司や絶妙な加減の生干しを焼いたものなど、本物のししゃもが味わえます。

町観光資源をPRするWEBページを開設しました!



2019年7月に国立科学博物館(東京)で開催された「恐竜博2019」をきっかけに、交流人口の拡大・関係人口の創出を目指す取り組みの一つとして、恐竜や化石をはじめとする町の観光資源をPRするWEBページを開設しました。

むかわ町の地場産品や食事・観光スポットを紹介しているほか、各映像もお楽しみいただけます。

むかわ町HP



むかわ町ふるさと納税HP

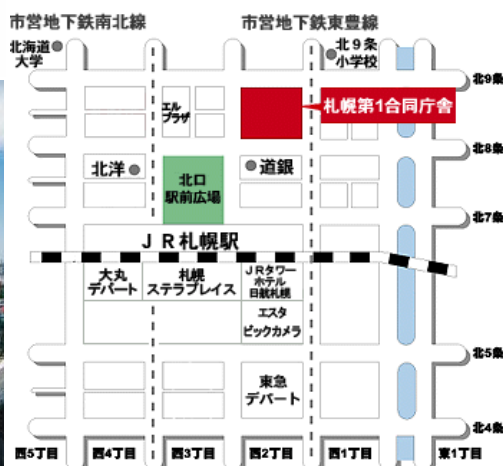


平成30年北海道胆振東部地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。



平成30年北海道胆振東部地震に伴う災害対応状況

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/splaat000001e1uy.html>



札幌第1合同庁舎

住所 〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目

電話(011)709-2311

北海道開発局ホームページ
<https://www.hkd.mlit.go.jp/>

